

東北地方太平洋沖 地震 救援速報 ! 号外

庄内医療生協が宮城県内の全日本民医連・ 医療福祉生協連への支援拠点となる 全国からの救援物資や支援中継に奮闘中 !



三月十一日の地震発生を受けて、情報の把握と救援活動を進めるために、庄内医療生協本部に「災害対策本部」を設置しました。
翌十二日に、組織部の高橋次長など3名が先遣隊として出発。また、三月十四日には、第三陣が、福岡県の千鳥橋病院の医療班、富山医療生協の支援物資輸送車と庄内医療生協で合流し、三台の支援車が一七時頃に、現地（坂病院）を指して出発しました。

医薬品や食料を届ける

十二日夜に緊急救援物資を積み第二陣が出発。車は停電の為、真つ暗闇で信号も点いてない道路をひたすら走った。途中何度もラジオで地震速報の警報音が流れる。緊張が高まるが停車せずに走行。

夜の十一時に坂病院に到着、その山向うの空がゆらゆらと赤く揺らめいていて、コンビナートが燃えているのがわかった。

病院では、職員の方たちがニュースの画面に見入る人、疲れきって床に寝転ぶ人、不安そうにロビーの長椅子でうずくまる人も。携帯の電波も通じない。

自家発電の軽油も残り少なくて不安。水、毛布、カセットコンロ、薬品・あらゆるものが足りない。被害の状況や規模を考えると長期戦になる。瞬発力・機動力も必要だ。



支援物資・支援募金

にご協力願います

現地では
タオルケット・毛布・
カセットコンロ・ボンベ
が不足しています。
組合員のみならず
の提供宜しく願
います。
組織部(22・5769)
へお持ちいただくか、
連絡いただければ
取りに伺
います。